

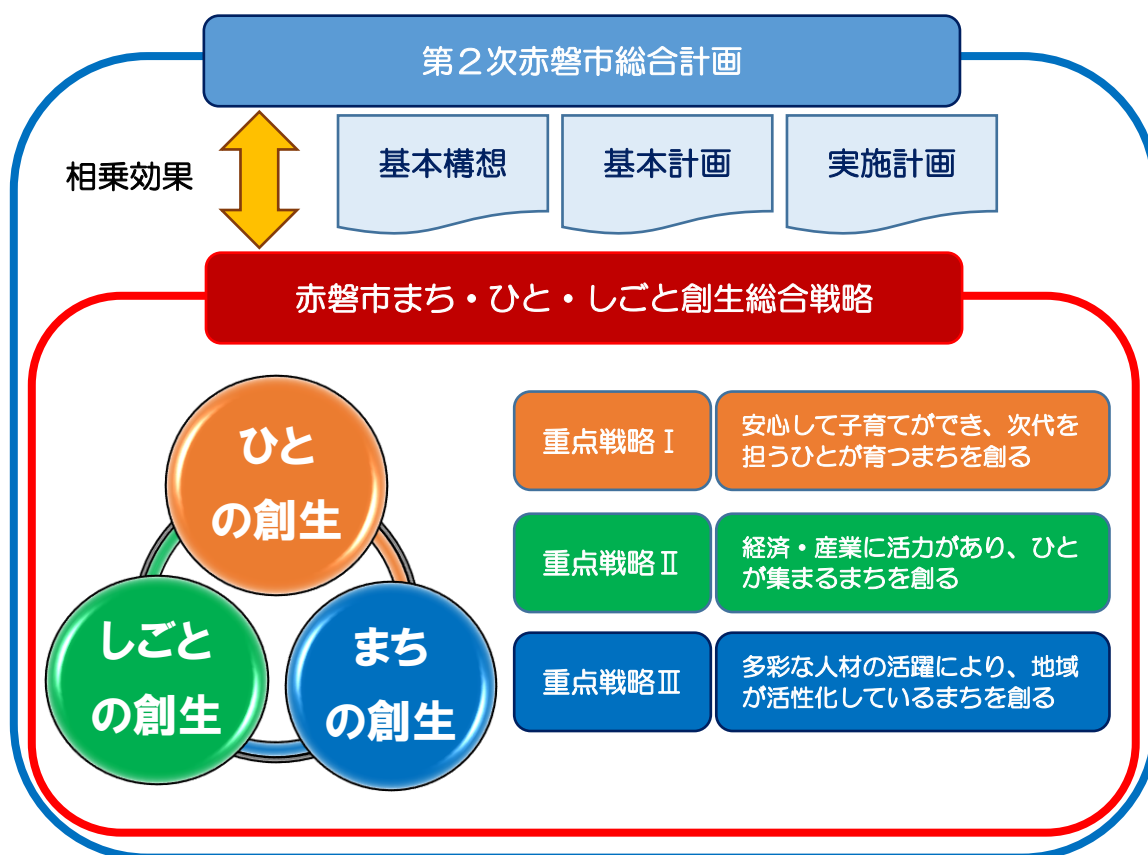
総合戦略に基づく施策の進行管理（PDCAサイクル）について

●総合計画と総合戦略の関係

本市の最上位計画である「第2次赤磐市総合計画」は、人口減少・少子高齢社会の到来を前提とした中で赤磐市がさらに発展していくためには、人と人、人と地域の絆が大切にされ、市民、地域、事業者、行政がともに支えあい、協働によりまちづくりが進められることが必要であることから、各主体が具体的に果たすべきことを共有できる指針として策定しました。

一方、「赤磐市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、「第2次赤磐市総合計画」の方針を踏まえ、人口減少問題に対応し、持続的な発展に向けて取り組むため、同総合計画を重点化し、「まち・ひと・しごと」の創生に向けた対策を示したものです。

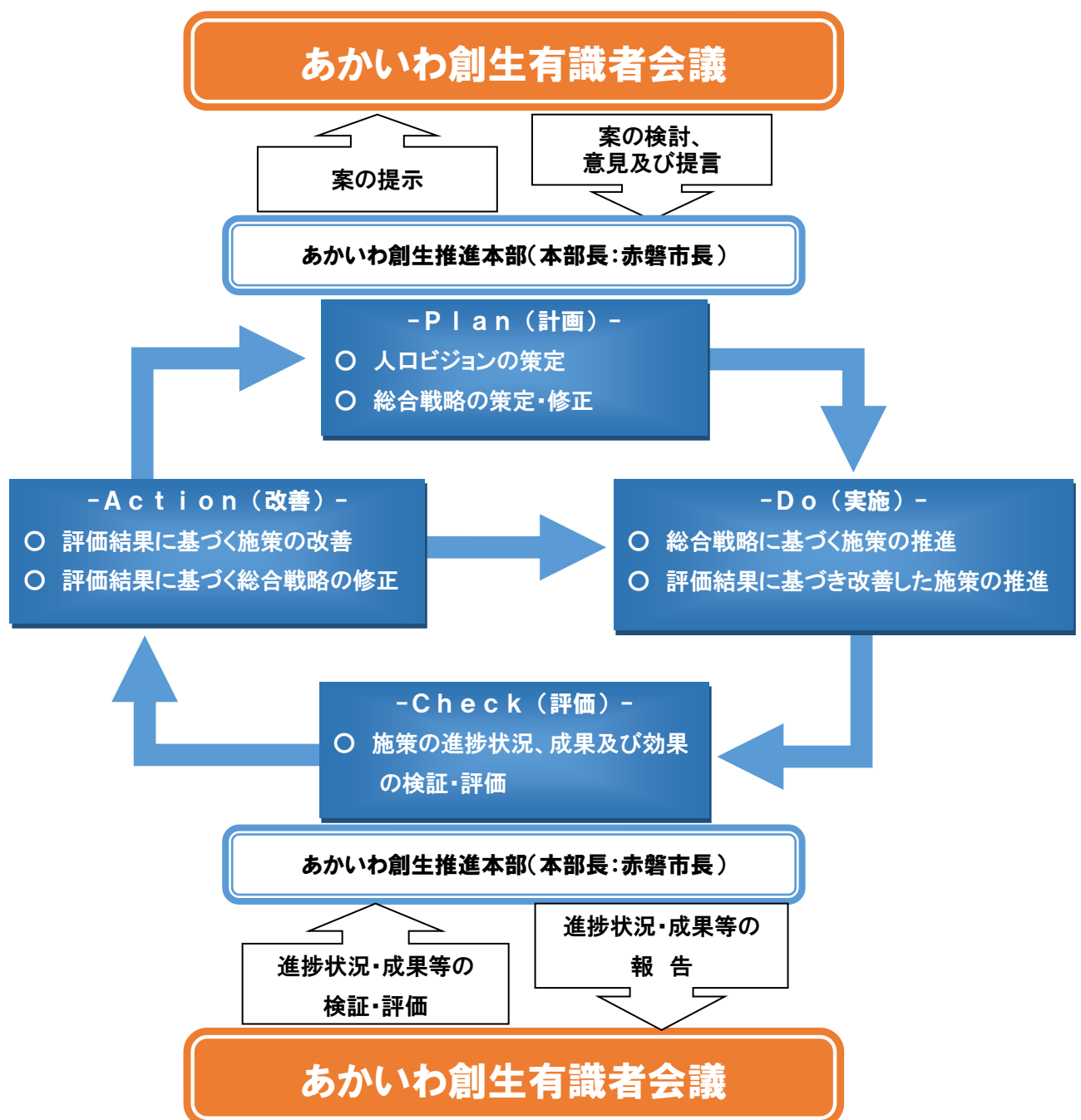
<体系図>



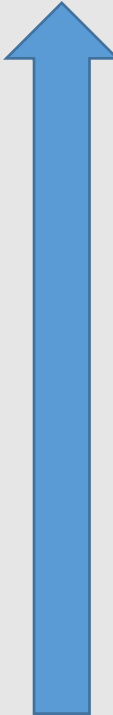
●総合戦略のPDCAサイクルの推進とチェック体制

総合戦略に基づき実施した施策の点検・見直しについては、市長を本部長とする「あかいわ創生推進本部」による内部評価を実施するほか、産官学金労言民からなる委員で構成される「あかいわ創生有識者会議」において、より客観的に施策の進捗状況を適切に把握し、取組の効果を検証する外部評価を行うことで、継続的な業務改善を図り、効果的・効率的な地方創生を進めます。

<体系図>



●総合戦略に係る重点戦略-戦略プログラムの事業評価シート（資料3）の評価方法について

評価方法及び配点			総 合 評 価		
重要業績評価指標(KPI)進捗状況評価 《30ポイント×平均進捗率》		(満点) 30ポイント	100ポイント  0ポイント	A ~100	戦略プログラムの進捗状況は、非常に良好であり、事業効果も現れている。
重点施策事業評価 《70ポイント×(平均達成度のAvg÷5)》		(満点) 70ポイント		B ~80	戦略プログラムの進捗状況は、良好であり、事業効果も現れつつある。
計画以上の事業実績及び事業効果があり、先進的な事業の実施が行えた。	5			C ~60	戦略プログラムの進捗状況は、概ね良好であるものの、事業効果が現れるまで時間を要する。
計画どおりの事業実績及び事業効果があり、次年度以降の事業計画も予定どおり実施される。	4			D ~40	戦略プログラムの進捗状況は、良好でなく、事業効果も現れていないものがある。
事業計画がやや遅れがちなところがあるものの、概ね計画どおりの事業実績及び事業効果がある。	3			E ~20	戦略プログラムの進捗状況は、遅れており、事業効果も現れていないため、事業の見直しが必要である。
事業計画が遅れており、事業実績及び事業効果が低調である。	2				
事業計画が大幅に遅れており、計画どおりの事業実績及び事業効果を得ることができず、事業計画等を見直す必要がある。	1				

●平成28年度 重要業績評価指標(KPI)進捗率の算出方法について

○5年間の累計について、各年の重要業績評価指標(KPI)がある場合

重要業績評価指標(KPI)	平成28年度進捗状況	計算式	進捗率
婚活支援による成婚組数(6組×5年) 30組(平成27年度～平成31年度までの累計)	平成28年度 0組 ⇒平成28年度末までの累計 2組	$2組 \div (6組 \times 2年) \times 100$ ⇒	17%

2年目の分母は6組×2年＝12組

○5年間の累計で重要業績評価指標(KPI)の達成を目指す場合

重要業績評価指標(KPI)	平成28年度進捗状況	計算式	進捗率
GAP認証等の取得 ※雄町米、誉乃 AKASAKA、黄ニラ等 平成26年度末 0団体 ⇒ 平成31年度末 3団体	平成28年度末 1団体	$1団体 \div 3団体 \times 100$ ⇒	33%

○5年をかけて重要業績評価指標(KPI)の達成を目指す場合

重要業績評価指標(KPI)	平成28年度進捗状況	計算式	進捗率
新規就農者数 平成26年度末までの5年間 39人 ⇒ 平成31年度末までの5年間 60人(累計21人増加)	平成28年度 10人 ⇒平成28年度末累計56人 (17人/21人)	$56 \div 60 \times 100$ ⇒	93%

※重要業績評価指標(KPI)が達成された場合

重要業績評価指標(KPI)	平成28年度進捗状況	計算式	進捗率
有効求人倍率(和気公共職業安定所管内) 平成26年度平均 0.92 ⇒ 平成31年度平均 1.13	1.23	$1.23 \div 1.13 \times 100$ ⇒	109% ⇒100%